

(令和7年6月30日 改訂)  
令和6年10月31日  
気象庁  
洪水予報担当

## 水位周知河川に関する情報 XML の解説

水位周知河川に関する情報 XML の構成と各タグの解説を以下に示す。なお、〈Body〉部の内容は、一部またはすべてを省略する場合がある。  
(2025/6/30 注) 水位周知河川に関する情報の提供については、令和8年度出水期を目処に行う計画であったが、当面の間は見送ることとする。本情報を提供することとなった際には、提供開始時期までに準備期間を設けて、改めてお知らせする。

### 1 全体構成

〈Report〉

- └ 〈Control〉 伝送情報部
- └ 〈Head〉 ヘッダー部
- └ 〈Body〉 ボディー部

### 2 各部の構成と内容

#### (1) Control 部

##### ① Control 部の構成

Control

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| └ Title            | 情報名称  |
| └ DateTime         | 発表時刻  |
| └ Status           | 運用種別  |
| └ EditorialOffice  | 編集官署名 |
| └ PublishingOffice | 発表官署名 |

## ② Control 部の詳細

タグ	解説
Title	「情報名称」“水位周知河川に関する情報”で固定。
DateTime	「発表時刻」協定世界時で記載する。未来時刻にはならない。“2023-07-10T07:35:30Z”のように記載。
Status	「運用種別」“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。
EditorialOffice	「編集官署名」気象庁側で主に発表作業を行った官署名を記載。
PublishingOffice	「発表官署名」業務的に発表した官署名を記載。共同発表の場合は対象となる複数官署名を xs:list 型で記載。

## (2) Head 部

### ① Head 部の構成

#### Head

└ Title	標題
└ ReportDateTime	発表時刻
└ TargetDateTime	基点時刻
└ EventID	識別情報
└ InfoType	情報形態
└ Serial	情報番号
└ InfoKind	スキーマの運用種別情報
└ InfoKindVersion	スキーマの運用種別のバージョン情報
└ Headline	見出し要素

## ② Head 部の詳細

タグ	解説
Title	「標題」「善川氾濫注意報」のように本情報の具体的な内容を示す標題を記載。
ReportDateTime	「発表時刻」本情報の公式な発表時刻を記載。“2023-07-10T16:30:00+09:00”のように日本標準時で記載。
TargetDateTime	「基点時刻」本情報の対象となる基点時刻を記載。“2023-07-10T16:30:00+09:00”のように日本標準時で記載。
EventID	「識別情報」水位周知河川に関する情報（発表区間）コード等を記載。
InfoType	「情報形態」「発表」「訂正」「取消」のいずれかを記載。
Serial	「情報番号」情報の発表番号を記載。
InfoKind	「スキーマの運用種別情報」「水位周知河川に関する情報」で固定。
InfoKindVersion	「スキーマの運用種別のバージョン情報」本解説のバージョン番号は“1.5_0”。
Headline	「見出し要素」Headline の構成は③を参照。

## ③ Headline の詳細

タグ	解説
Headline	
└ Text	「見出し文」見出しの内容を記載。
└ Information	以下は type 属性が“水位周知河川に関する情報（発表区間）”の場合。
└ Item	
└ Kind	対象発表区間に対する水位周知河川に関する情報の「防災気象情報要素」を記載。 Name, Code, Condition のとりうる値は表 1 を参照。
└ Name	「防災気象情報要素名」水位周知河川に関する情報の標題（“レベル 2 氾濫注意報”など）を記載。
└ Code	「防災気象情報要素コード」 水位周知河川に関する情報の標題と氾濫警報・注意報の種類に対応するコード（表 1）を記載。
└ Condition	「状況」氾濫警報・注意報の種類（“レベル 2 氾濫注意報”“レベル 3 氾濫警報”など）を記載。
└ Areas	codeType 属性は“水位周知河川に関する情報（発表区間）”と記載。

└ Area	
└ Name	「対象発表区間名称」対象となる発表区間（標題河川）名称を記載。
└ Code	「対象発表区間コード」対象となる発表区間（標題河川）コードを記載。
└ Information	以下は type 属性が“水位周知河川に関する情報（河川）”の場合。
└ Item	
└ Kind	上述の Information[@type=“水位周知河川に関する情報（発表区間）”]と同じ内容を記載。
└ Name	
└ Code	
└ Condition	
└ Areas	codeType 属性は“河川”と記載。
└ Area	対象となる河川の数だけ出現する。
└ Name	「対象河川名称」対象発表区間が含まれる河川の河川名称を記載。
└ Code	「対象河川コード」河川コードを記載。
└ Information	以下は type 属性が“水位周知河川に関する情報（府県予報区等）”の場合。
└ Item	
└ Kind	上述の Information[@type=“水位周知河川に関する情報（発表区間）”]と同じ内容を記載。
└ Name	
└ Code	
└ Condition	
└ Areas	codeType 属性は“気象情報／府県予報区・細分区域等”と記載。
└ Area	対象府県予報区の数だけ出現する。
└ Name	「対象府県予報区名称」対象発表区間が含まれる府県予報区の府県予報区名称を記載。
└ Code	「対象地域コード」対象となる府県予報区コードを記載。

(表 1) Information/Item/Kind のコード・要素対応表 **【P】**

Name	Code	Condition
レベル2氾濫注意報解除	10	レベル2氾濫注意報解除
レベル2氾濫注意報	21	レベル2氾濫注意報
レベル3氾濫警報	31	レベル3氾濫警報
レベル4氾濫危険警報	41	レベル4氾濫危険警報
レベル5氾濫特別警報	51	レベル5氾濫特別警報

### (3) Body 部

#### ① Body 部の構成

##### Body

└ Notice	お知らせ
└ Warning	警報・注意報事項の内容
└ MeteorologicalInfos	予報や観測に関する事項
└ OfficeInfo	担当部署に関する事項
└ AdditionalInfo	付加事項

#### ② Notice の詳細

お知らせの文章を記述する。

#### ③ Warning の詳細

概況や浸水想定地区について、ここに記述する。注意・警戒事項の内容は<Item>を大きなまとまりとして列挙する。つまり、概況、浸水想定地区を記述する場合でそれぞれ分けられる。浸水想定地区、浸水想定地区（氾濫発生情報）の区別は<Kind/Name>で判別できる。

タグ	解説
Warning	type 属性には“水位周知河川に関する情報（河川）”と記載。
└ Item	「注意・警戒事項の内容」概況の数だけ出現する。
└ Kind	対象となる観測所に対する水位周知河川に関する情報の「防災気象情報要素」を記載。 Name, Code, Condition のとりうる値は表 1 を参照。
└ Name	「防災気象情報要素名」水位周知河川に関する情報の標題（“レベル 2 氾濫注意報”など）を記載。
└ Code	「防災気象情報要素コード」 水位周知河川に関する情報の標題と氾濫警報・注意報の種類に対応するコード（表 1）を記載。
└ Condition	「状況」氾濫警報・注意報の種類（“レベル 2 氾濫注意報”“レベル 3 氾濫警報”など）を記載。

└ Property	
└ Type	“洪水害危険度”と記載。
└ SignificancyPart	
└ Base	
└ Significancy	type 属性には“洪水害危険度”と記載。
└ Name	警戒レベル相当（“警戒レベル2”“警戒レベル3相当”など）を記載。
└ Code	警戒レベル相当に対応するコード（表2）を記載。
└ Property	
└ Type	“概況”と記載。
└ Text	概況の内容を記載。
└ Areas	「対象となる観測所が設置されている河川」codeType 属性には“河川”と記載。
└ Area	
└ Name	河川名称を記載。
└ Code	河川コードを記載。
└ Stations	「対象となる観測所」
└ Station	
└ Name	対象となる観測所名称を記載。
└ Code	type 属性には“水位観測所”と記載。対象となる観測所コードを記載。
└ Location	観測所の位置を記載。
Warning	type 属性には“水位周知河川に関する情報（浸水想定地区）”と記載。
└ Item	「注意・警戒事項の内容」（以下は浸水想定地区を記述する場合）
└ Kind	
└ Property	
└ Type	情報の種別に応じて“浸水想定地区”又は“浸水想定地区（氾濫発生情報）”と記載。 “浸水想定地区”の場合、対象となる観測所（Stations）の受け持ち区間における浸水想定地区を

	二次細分区域ごとに Areas に記載する。“浸水想定地区（氾濫発生情報）”の場合、観測所を指定せず対象発表区間内の破堤点で想定される浸水想定地区を二次細分区域ごとに Areas に記載する。
└ Text	浸水想定地区に対する説明を記載。
└ Areas	codeType 属性には“気象・地震・火山情報／市町村等”と記載。
└ Area	Type の値に応じた浸水想定地区の二次細分区域の数だけ出現する。
└ Name	Type の値に応じた浸水想定地区の二次細分区域名称を記載。
└ Code	二次細分区域の気象庁二次細分区域コードを記載。
└ Prefecture	二次細分区域の県の名称を記載。
└ PrefectureCode	二次細分区域の県のコードを記載。
└ City	二次細分区域の市町村の名称を記載。
└ CityCode	二次細分区域の市町村のコードを記載。
└ SubCityList	二次細分区域内の浸水想定地区の地域・地区の名称を記載。地域・地区を記載しない場合は、“-”を記載する。
└ Stations	対象となる観測所。Type の値が“浸水想定地区（氾濫発生情報）”の場合、観測所を指定しないため要素ごと省略する。
└ Station	
└ Name	対象となる観測所名称を記載。
└ Code	type 属性には“水位観測所”と記載。対象となる観測所コードを記載。
└ Location	観測所の位置を記載。

（表 2）Warning/Item/Kind/Property/Base のコード・要素対応表

Name	Code
警戒レベル2未満	11
警戒レベル2	21
警戒レベル2相当	22



警戒レベル3相当	31
警戒レベル4相当	41
警戒レベル5相当	51

(例) 情報の概況、対象となる河川と水位観測所を記述する場合

```

<Item>
  <Kind>
    <Name>レベル 2 氾濫注意報</Name>
    <Code>21</Code>
    <Condition>レベル 2 氾濫注意報</Condition>
    <Property>
      <Type>洪水害危険度</Type>
      <SignificancyPart>
        <Base>
          <Significancy type="洪水害危険度">
            <Name>警戒レベル 2</Name>
            <Code>21</Code>
          </Significancy>
        </Base>
      </SignificancyPart>
    </Property>
    <Property>
      <Type>概況</Type>
      <Text>【警戒レベル 2 情報 [洪水]】〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に氾濫注意水位（〇〇m）に到達しました。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。</Text></Text>
    </Property>
  </Kind>
  <Areas codeType="河川">
    <Area>
      <Name>〇〇川</Name>
      <Code>12345678</Code>
    </Area>
  </Areas>

```

```
<Stations>
  <Station>
    <Name>〇〇</Name>
    <Code type="水位観測所">123456789012345</Code>
    <Location>〇〇市</Location>
  </Station>
</Stations>
</Item>
```

注：標題と警戒レベルとの関係は、末尾の参考部分の記述を参照。

また、浸水が想定される地区を記載する場合、氾濫の発生の前後で<Type>や<Text>を変え、以下のように記述する。

（例）氾濫発生前、浸水が想定される地域を記述する場合

```
<Item>
  <Kind>
    <Property>
      <Type>浸水想定地区</Type>
      <Text>氾濫による浸水が想定される地区※</Text>
    </Property>
  </Kind>
  <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
    <Area>
      <Name>〇〇市</Name>
      <Code>1234567</Code>
      <Prefecture>〇〇県</Prefecture>
      <PrefectureCode>00000</PrefectureCode>
      <City>〇〇市</City>
      <CityCode>1234500</CityCode>
      <SubCityList>-</SubCityList>
    </Area>
  </Areas>
  <Stations>
    <Station>
      <Name>〇〇</Name>
```

```
        <Code type="水位観測所">123456789012345</Code>
        <Location>〇〇市</Location>
      </Station>
    </Stations>
  </Item>
```

注：氾濫発生前における「氾濫による浸水が想定される地区」は、一定の条件に基づいてあらかじめ計算した推定結果である。気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でも氾濫による浸水がおこる可能性がある。

（例）氾濫発生時に浸水が想定される地域を記述する場合

```
    <Item>
      <Kind>
        <Property>
          <Type>浸水想定地区（氾濫発生情報）</Type>
          <Text>〇×地点からの氾濫による浸水が想定される地区※</Text>
        </Property>
      </Kind>
      <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
        <Area>
          <Name>〇〇市</Name>
          <Code>1234567</Code>
          <Prefecture>〇〇県</Prefecture>
          <PrefectureCode>00000</PrefectureCode>
          <City>〇〇市</City>
          <CityCode>1234500</CityCode>
          <SubCityList>-</SubCityList>
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
```

注：氾濫発生時における「氾濫による浸水が想定される地区」は、氾濫が確認された地点からの一定の条件に基づく氾濫水の予想による推定結果である。気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でも氾濫による浸水がおこる可能性がある。

#### ④ MeteorologicalInfos の詳細

流域雨量指数について、その観測や予測内容を記述する。

タグ	解説
MeteorologicalInfos	type 属性には“雨量情報”と記載。
└ MeteorologicalInfo	
└ DateTime	「予測・観測の基点時刻」
└ Item	「予測・観測の内容」
└ Kind	
└ Name	“雨量”と記載。
└ Property	
└ Type	“雨量”と記載。
└ PrecipitationBasedIndexPart	
└ jmx_eb:PrecipitationBasedIndex	type 属性には“流域雨量指数変化傾向”と記載。condition 属性には流域雨量指数予測の変化傾向を記載。description 属性には本要素の文字列表現を記載。
└ Text	流域雨量指数に基づく予測・観測文を記載。
└ Areas	codeType 属性には“水位周知河川に関する情報（発表区間）”と記載。
└ Area	
└ Name	「対象発表区間名称」対象となる発表区間（標題河川）名称を記載。
└ Code	「対象発表区間コード」対象となる発表区間（標題河川）コードを記載。
└ TimeSeriesInfo	「時系列情報」流域雨量指数の時系列値を提供する場合に記載する。提供しない場合は要素ごと省略する。
└ TimeDefines	「時系列の時刻定義セット」
└ TimeDefine	「個々の時刻定義」時刻定義の数だけ出現する。

└ DateTime	「予測・観測の基点時刻」
└ Name	予報・観測期間の内容を記載。
└ Item	「予測・観測の内容」流域ごとに<Item>で括って記載。
└ Kind	
└ Property	
└ Type	“流域雨量指数”と記載。
└ PrecipitationBasedIndexPart	
└ jmx_eb:PrecipitationBasedIndex	type 属性には“流域雨量指数”と記載。流域雨量指数の実況・予測値を記載。 refID 属性には時刻定義セットの対応する timeId を記載。値が計算されない等 実況・予測値が提供されないときには condition 属性に“値なし”を記載。
└ Station	
└ Name	対象となる観測所名称を記載。
└ Code	type 属性には“水位観測所”と記載。対象となる観測所コードを記載。
└ Location	観測所の位置を記載。

※流域雨量指数の提供は当面行わず、将来的に準備が整った際に提供を行う。

（例）流域雨量指数の実況及び予測を記述する場合

```

<MeteorologicalInfos type="雨量情報">
  <MeteorologicalInfo>
    <DateTime>2023-07-10T16:00:00+09:00</DateTime>
    <Item>
      <Kind>
        <Name>雨量</Name>
        <Property>
          <Type>雨量</Type>
          <PrecipitationBasedIndexPart>
            <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数変化傾向" condition="上昇" description="上昇
"/></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
          </PrecipitationBasedIndexPart>
        </Property>
      </Kind>
    </Item>
  </MeteorologicalInfo>
</MeteorologicalInfos>

```

<Text>〇〇川では、水位が氾濫注意水位に到達しています。洪水の危険度が今後さらに上昇の見込みですので、十分に注意してください。</Text>

</Property>

</Kind>

<Areas codeType="水位周知河川に関する情報（発表区間）">

<Area>

<Name>〇〇川</Name>

<Code>1234567890</Code>

</Area>

</Areas>

</Item>

</MeteorologicalInfo>

<TimeSeriesInfo>

<TimeDefines>

<TimeDefine timeId="1">

<DateTime>2023-07-10T16:00:00+09:00</DateTime>

<Name>10日16時00分</Name>

</TimeDefine>

<TimeDefine timeId="2">

<DateTime>2023-07-10T17:00:00+09:00</DateTime>

<Name>10日17時00分</Name>

</TimeDefine>

<TimeDefine timeId="3">

<DateTime>2023-07-10T18:00:00+09:00</DateTime>

<Name>10日18時00分</Name>

</TimeDefine>

<TimeDefine timeId="4">

<DateTime>2023-07-10T19:00:00+09:00</DateTime>

<Name>10日19時00分</Name>

</TimeDefine>

<TimeDefine timeId="5">

<DateTime>2023-07-10T20:00:00+09:00</DateTime>

<Name>10日20時00分</Name>

</TimeDefine>

<TimeDefine timeId="6">

<DateTime>2023-07-10T21:00:00+09:00</DateTime>

```
<Name>1 0 日 2 1 時 0 0 分</Name>
</TimeDefine>
<TimeDefine timeId="7">
  <DateTime>2023-07-10T22:00:00+09:00</DateTime>
  <Name>1 0 日 2 2 時 0 0 分</Name>
</TimeDefine>
</TimeDefines>
<Item>
  <Kind>
    <Property>
      <Type>流域雨量指数</Type>
      <PrecipitationBasedIndexPart>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" refID="1">10</jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" condition="値なし"
refID="2"></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" condition="値なし"
refID="3"></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" condition="値なし"
refID="4"></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" condition="値なし"
refID="5"></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" condition="値なし"
refID="6"></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
        <jmx_eb:PrecipitationBasedIndex type="流域雨量指数" condition="値なし"
refID="7"></jmx_eb:PrecipitationBasedIndex>
      </PrecipitationBasedIndexPart>
    </Property>
  </Kind>
  <Station>
    <Name>〇〇</Name>
    <Code type="水位観測所">123456789012345</Code>
    <Location>〇〇市</Location>
  </Station>
</Item>
</TimeSeriesInfo>
</MeteorologicalInfos>
```

## ⑤ OfficeInfo の詳細

タグ	解説
OfficeInfo	「担当官署」
└ Office	Type 属性には“水位関係”または“気象関係”と記載。官署の数だけ出現する。
└ Name	担当官署の名称を記載。
└ Code	担当官署コードを記載。
└ ContactInfo	担当官署の連絡先を記載。

### (例) OfficeInfo の記述例

```

<OfficeInfo>
  <Office type="水位関係">
    <Name>北上川下流河川事務所</Name>
    <Code>21045</Code>
    <ContactInfo>国土交通省 北上川下流河川事務所 防災情報課 xxx-xxx-xxxx</ContactInfo>
  </Office>
  <Office type="気象関係">
    <Name>仙台管区气象台</Name>
    <Code>47590</Code>
    <ContactInfo>気象庁 仙台管区气象台 気象防災部予報課 xxx-xxx-xxxx</ContactInfo>
  </Office>
</OfficeInfo>

```

## ⑥ AdditionalInfo の詳細

タグ	解説
----	----



AdditionalInfo	「参考資料」
└ FloodForecastAddition	
└ HydrometricStationPart	「水位観測所の受け持ち区間と基準の諸要素」観測所の数だけ出現する。
└ Area	type 属性には“水位観測所”と記載。
└ Name	水位・流量観測所名称を記載。
└ Code	水位・流量観測所コードを記載。
└ SubCityList	浸水が想定される地区を記載。複数ある場合は xs:list 型で記載。地区を記載しない場合は、“-”を記載する。
└ Location	水位・流量観測所の所在地を記載。
└ ChargeSection	水位・流量観測所の受け持ち区間を記載。 受け持ち区間の数だけ出現する。
└ Criteria	
└ jmx_eb:WaterLevel	水位基準の値を記載。condition 属性に基準の有効・無効を記載。
└ jmx_eb:Discharge	流量基準の値を記載。condition 属性に基準の有効・無効を記載。

(例) AdditionalInfo の記述例

水位観測所の場合

```

<AdditionalInfo>
  <FloodForecastAddition>
    <HydrometricStationPart>
      <Area codeType="水位観測所">
        <Name>〇〇</Name>
        <Code>123456789012345</Code>
        <SubCityList>〇〇市〇〇地区 〇〇市〇〇地区</SubCityList>
        <Location>〇〇市</Location>
      </Area>
      <ChargeSection>〇〇川
        左岸 〇〇県〇〇市から〇〇県〇〇市
    </HydrometricStationPart>
  </FloodForecastAddition>
</AdditionalInfo>

```

```
右岸 〇〇県〇〇市から〇〇県〇〇市</ChargeSection>
<Criteria>
  <jmx_eb:WaterLevel type="レベル 1 水防団待機水位" unit="m" condition="有効">x.xx</jmx_eb:WaterLevel>
  <jmx_eb:WaterLevel type="レベル 2 氾濫注意水位" unit="m" condition="有効">x.xx</jmx_eb:WaterLevel>
  <jmx_eb:WaterLevel type="レベル 3 避難判断水位" unit="m" condition="有効">x.xx</jmx_eb:WaterLevel>
  <jmx_eb:WaterLevel type="レベル 4 氾濫危険水位" unit="m" condition="有効">x.xx</jmx_eb:WaterLevel>
  <jmx_eb:WaterLevel type="レベル 4 計画高水位等" unit="m" condition="有効">x.xx</jmx_eb:WaterLevel>
</Criteria>
</HydrometricStationPart>
</FloodForecastAddition>
</AdditionalInfo>
```

流量観測所の場合

```
<AdditionalInfo>
  <FloodForecastAddition>
    <HydrometricStationPart>
      <Area codeType="水位観測所">
        <Name>〇〇</Name>
        <Code>123456789012345</Code>
        <SubCityList>〇〇市〇〇地区 〇〇市〇〇地区</SubCityList>
        <Location>〇〇市</Location>
      </Area>
      <ChargeSection>〇〇川
      左岸：〇〇県〇〇市から〇〇県〇〇市
      右岸：〇〇県〇〇市から〇〇県〇〇市</ChargeSection>
      <Criteria>
        <jmx_eb:Discharge type="レベル 1 水防団待機流量" unit="立方メートル毎秒" condition="有効">
          x.xx</jmx_eb:Discharge>
        <jmx_eb:Discharge type="レベル 2 氾濫注意流量" unit="立方メートル毎秒" condition="有効">
          x.xx</jmx_eb:Discharge>
        <jmx_eb:Discharge type="レベル 3 避難判断流量" unit="立方メートル毎秒" condition="有効">
          x.xx</jmx_eb:Discharge>
        <jmx_eb:Discharge type="レベル 4 氾濫危険流量" unit="立方メートル毎秒" condition="有効">
          x.xx</jmx_eb:Discharge>
        <jmx_eb:Discharge type="レベル 4 計画高水流量等" unit="立方メートル毎秒" condition="有効">
          x.xx</jmx_eb:Discharge>
      </Criteria>
    </HydrometricStationPart>
  </FloodForecastAddition>
</AdditionalInfo>
```

（参考：警戒レベルとの対応）

標題と警戒レベルとの関係は以下のとおりです。

水位周知河川に関する情報の標題（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 （レベル5 氾濫特別警報）	氾濫の発生あるいは氾濫開始相当水位に到達した場合※	氾濫水への警戒を求める段階 【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報 （レベル4 氾濫危険警報）	氾濫危険水位に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階 【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報 （レベル3 氾濫警報）	避難判断水位に到達した場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階 【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報 （レベル2 氾濫注意報）	氾濫注意水位に到達した場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階 【警戒レベル2】

※東京都管理の一部河川に限り、氾濫開始相当水位に到達した場合に「〇〇川氾濫発生情報（レベル5 氾濫特別警報）」の発表を行っています。